

## **悪性リンパ腫に対する自家末梢血幹細胞移植後の長期合併症についての後方視的検討**

市立福知山市民病院血液内科は、悪性リンパ腫に対して自家末梢血幹細胞移植を受けられた方を対象とした後向き検討を実施いたします。そのため、対象となる患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させて頂きたいと考えています。実施にあたり市立福知山市民病院倫理委員会の承認を受けています。

### **・研究の目的**

難治性の悪性リンパ腫に対する標準治療として自家末梢血幹細胞移植が行われることがあります。悪性細胞を根絶する目的で移植の約1週間前から大量化学療法(前処置と呼びます)が行われますが、その前処置のレジメン(抗癌剤の組み合わせ)としてMEAM, LEEDといったものが選ばれます。これらは患者の基礎疾患や年齢などに応じて選ばれることが多いですが、長期合併症としてどのようなものが多いかは世界的にも報告がなく、選択基準があいまいになっているのが現状です。今回、市立福知山市民病院で過去に行われた症例を検討することにより、前処置を選択する基準が確立されるための一助となることが期待されます。

### **・研究の方法**

**対象となる方:** 当院で2012年から2020年1月までの間に悪性リンパ腫に対して自家末梢血幹細胞移植を受けられた方が対象となります。

**研究期間:** 市立福知山市民病院倫理委員会承認後～2021年3月31日までの期間

**方法:** カルテ上の記録を調べ、年齢、性別、治療内容、合併症などを集計します。

**研究に用いる情報:** 性別、年齢、病歴、治療歴、検査結果

### **・個人情報の取り扱いについて**

カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者様を直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。この研究で得られた情報は研究責任者(市立福知山市民病院血液内科医師 早田洋樹)の責任の下、厳重な管理を行い、患者様の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### **・お問い合わせ先**

患者様、御家族様の御希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画および実施方法についての資料を入手または閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様または代理人の方にご了承頂けない場合は研究対象としませんので、2021年3月31日までに下記の連絡先までお申し出下さい。

その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。ただし、同意を取り消した時点で既に研究結果が学会や論文などで公表されている場合など、破棄できない場合があります。

連絡先：市立福知山市民病院 血液内科

医師 早田 洋樹

電話：0773-22-2101(代表)